

こまった こまった どうしよう… 〈かしかいできない〉

★こんな時、困りませんか？

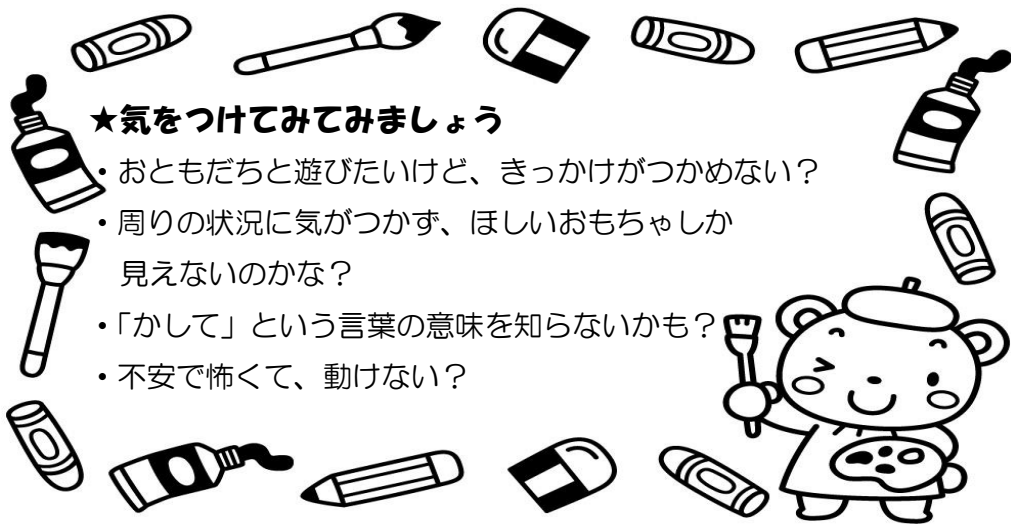
- おともだちが使っているおもちゃを、黙って持っていく
- 「かして」と、おともだちにいけない
- いつも、とられてばかり…
- おともだちに「かして」といわれても、貸さない
- 好きなおもちゃを抱えて、離さない

●なぜ、そうなの？

- そのおもちゃがほしいから
- そのおもちゃしか見ていないから
- 「かして」という言葉を知らないから
- おともだちが近づいてくると怖いから
- どうしていいかわからないから

★気をつけてみましょう

- おともだちと遊びたいけど、きっかけがつかめない？
- 周りの状況に気がつかず、ほしいおもちゃしか見えないのかな？
- 「かして」という言葉の意味を知らないかも？
- 不安で怖くて、動けない？



●どうしたらいい？

子どもはみんな、ものの取り合いをする時期があります。そこでみんなと仲よくあそぶ楽しさを知り、よりよい方法を身につけていきます。子どもが覚えるまでは、大人の橋渡しが必要です。

たとえば…

- 子どもたちに状況を知らせる
例「〇〇ちゃんが使っているね、△△ちゃんは“かして”だね」
- 子どもの気持ちを代わりに言う
例「かして」「今使っているから、ちょっと待っててね」
- 仲よくあそぶことができそうな方法を提案する
例「はんぶんこにしようか」「順番だよ」
「かわりばんこにしようね」「こうかんこしようか」
- 大人がいったん借りるなどして、子どもの間を取り持つ
例「わたしにひとつかしてね」

少しでもできたら「じょうずにできたね」などと**ほめることが大切**です。また、「〇〇ちゃんとおんなじだね」などのことばかけで、おともだちと一緒に遊ぶ楽しさを感じるとよいですね。何度も体験していくうちに、少しずつ上手になります。